レッスン：SPA72

テーマ：創造のセル（生命の木のチャートを手元において読んでください）

SPA72/KE2000.J06

私の姉妹・兄弟達、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

　過去のレッスンで、現在のパーソナリティーがその部屋のなかにいる時でも現在のパーソナリティーは実際に「生命の木」と呼ばれるシンボルを扱うことができる、と述べました。「生命の木」とは「創造のセル」以外の何ものでもありません。それは「絶対存在」がそれ自身の現れを通じて「創造界」に与えたものです。

さて、創造の諸世界における「絶対存在」の現れとは何でしょうか？それは汎宇宙的キリストロゴスです。ですから、それ自身の中における「絶対存在」の現れとしての汎宇宙的キリストロゴスがあります；しかし今、この現れは引き続き黙想を続け、その結果、創造界および「モナド自身」としての「生」の現れがその多重性のなかで生じます。

ですから、汎宇宙的キリストロゴスがあり、そして元型、天上人のイデアという現れがあり、人間のイデアというフォームの現れもあります。それは実際「創造のセル」です。そのように、表現するための手段を使用することによって「生」が表現されるのです。そしてそれらの手段は常にそのイデアとしてのフォーム、人間のイデアとしてのフォームと同一でなければなりません。なぜなら、存在の諸世界における「生」は手段として「マインド」を使用しないからです；しかしそれでも「生」が完全に表現されるためにはこのイデアというフォームによる必要があるのです。イデアがなければ、「生」は創造界において現れません。言い換えれば、「モナド・セルフとしての生」が「神の黙想」の活動のなかで生じないということです。なぜなら、前に述べたように、創造界にあるものは全て「神の黙想」の中に入った「モナド・セルフ」の個別の活動以外の何ものでもないからです。

さて、前にこの「創造のセル」はその一番上に大きな三角形がある、と述べましたが、その大きな三角形はアウタルキーのステートにある「絶対存在」を示します。この大きな三角形のなかに４つの小さな三角形があり、それは大きさは小さいですが同じです。それらの内の３つは上向きで、真ん中にある１つは下向きです。真ん中にあると言う時それは以下のことを意味します。もしこの大きな三角形を小宇宙としての現在のパーソナリティーの肉体と関連させると、この三角形は頭の真ん中に相当します。そして図のようにこの真ん中の４つめの三角形は２つの部分に分かれていますが、それらは人間の頭の左右２つの部分に相当します。それでは下に下がると、平行四辺形があり、水平である一辺は大きな三角形の底辺です。そして下の水平な辺も同じ長さです。他の２辺（＊垂直な線）もお互いに長さが等しくなっています。これら４つの辺はペアーになっていますが、４つの辺が全て同じ長さというわけではありません（＊横が長くて、縦の線は短い）。

ですから、このシンボルがあり、それは実際誰も到達することのできないステートを意味しています。そのステートのなかで「絶対存在」が行っています。その神の黙想の活動の結果として創造界が創造され、「生」が創造界のなかで表現されるべく「行って」います。ですから、それについて知っているのは絶対存在だけです。なぜならば、それは「絶対存在」それ自身のなか、アウタルキーにおける活動だからです。それはまだ創造界ではありません。

今、上から２番目のステップまで説明しました。このシンボルを更に下がっていくと、もう一つの平行四辺形のシンボルがあります。私達はそれらをシンボルと呼んでいます。その上側の辺は先ほどの平行四辺形の底辺と重なっています。この四辺形も横の線、縦の線がそれぞれ等しくペアーになっています。そしてこのシンボル（＊下の四辺形）のなかには４つの小さな三角形があり、それらもそれぞれペアーになっていて、２つが同形となっています。それぞれ縦と横の線がそれら４つの三角形の底辺となっています。

Page2

そして今、前のシンボルからスタートしてもう一つの大きな三角形が形成されます。それは一番上の大きな三角形と同一形であり、底辺を共有しています。唯一の違いは一番上の三角形は上向きであるのに対して、これは下向きであることです。そして下向きの大きな三角形の頂点は、先ほどの２番目の平行四辺形のなかにある４つの三角形の頂点と同じポイントです。

さて、絶対存在を示す上の大きな三角形と同一形のこの大きな下向きの三角形は、汎宇宙的キリストロゴスを示しています。前にそれをそれ自身のなかでそれ自身を現している絶対存在と呼びましたが、いまそれは創造界の中でも現しています。その大きな下向きの三角形の一部は、創造界のなかのいかなる生の現れでも到達不可能なステートにいますが、残りの部分は創造界のなかに入っています。

ですから、今創造の諸世界があり、そのなかの４つのヘブンがあります。「生」の４つのヘブンであり、そこでは「生」はその本質を完全に現しています…様々なイデアを通じて。そして最も重要なイデアは「人間のイデア」です。そして２番目のイデア（それは重要性がそれより劣るということはありませんが）「聖霊のイデア」、聖霊的イデアです。

そして、「人間のイデア」を通じて「魂のセルフ・エピグノシス」の現れがあり、「聖霊のイデア」を通じて様々な「アークエンジェルのオーダー」が生じます。さて、これらの諸世界における「生」はその元型を通じて現れ、それは私たちが創造のフォームと呼んだ「創造のセル」というフォームを使用します。

さて、この「創造のセル」は「絶対存在」によって与えられたのですが、実際には「天上人」としてのイエスキリスト・ロゴスを通じてです。確かにそれは「絶対存在」から直接に来るのですが、ここ「創造の諸世界」においてイエスキリスト・ロゴスが生のあらゆるフォームにこの「創造のセル」を与えます。なぜなら、「生」がこれら創造の諸世界で現れるためにはこのフォームを使用する必要があるからです。さもないと「生」の特質の現れは表現されないでしょう。

そしてこれらの諸世界で、このフォームを使用する聖霊的イデアがあります。なぜならこの三角形を通じてそのフォームとつながるからです。そしてもう一つの三角形を通じて「人間のイデア」にこのフォームが提供されます。それゆえに、これらの三角形がこのフォームのなかに存在するのです。全ての現れは、存在の諸世界においても、イデアとして与えられるフォームを使用しなければならないのです。

さて、さらにこのシンボルを下がるともう一つの大きな三角形があり、それは他の２つの大きな三角形と同一形です。しかし違いがあります；現れのステートがこの三角形を他の２つの三角形と離しています。しかし、それらをつなぐものがあり、それによって活性化され、この大きな三角形における全ての現れに「人間のイデア」のフォームを与えています。それはどのようにして行われているのでしょうか？

そうです、この三角形の底辺は存在の諸世界と呼んだステートを示す先ほどのシンボル（＊下側の平行四辺形）の一辺と同じです。そしてその底辺は（＊下向きの）大きな三角形の底辺だけでなく、その中にあるもう一つの小さな三角形（＊下向きの三角形）の底辺にもなっています。そして、この小さな三角形は存在の諸世界にあるペアーとなっている三角形と同一形です。すぐ上の小さな三角形と底辺を共有しています。ですから、３つの同一形の三角形があります。（そこに六芒星があるのを見てください）。こちらの三角形は部分的に、汎宇宙的キリストロゴスによって活性化されているものに触れています。絶対存在のアウタルキーのステートから生じたもの、それがこの三角形によって天上人に与えられ、そしてこの三角形、次の三角形に与えられています。

ですから、イエスキリスト・ロゴスによって、天上人として活性化された全ての現れがあります。「生の海」であるその聖なるステートは最小から最大のものまで全てを活性化し、生かします。

さて、アウタルキーである絶対存在を示すこの大きな三角形には金色の輝きがあります。非常にクリヤーで明るく輝いている金色の光です。

生命の木における次のシンボルには様々な無数の色のスパークがあります。それは特定の色ではありません。非常に明るい無数の色で、それを解釈するのはいかなる気づきにあっても不可能です。そして前に述べたように、その理由はそのステートとはアウタルキーにある絶対存在のみであり、それが黙想しています。そのステートは創造界の前のステートであり、「生」が創造の諸世界で表現される前のステートです。

Page3

さて、「生命の木」における次のステート、次のシンボルですが、そのステートには非常にクリヤーなホワイトピンクの色があります。そして次のシンボル、それは下向きの大きな三角形ですが（＊一番下の大きな三角形）、それは実存の諸世界を示し、現在のパーソナリティーを示しています。そこには非常にクリヤーで明るい水色があります。

それでは次のこのシンボル（＊生命の木）を小宇宙、人間の肉体と関係させてみましょう。この大きな三角形は肩ではなく、肩の少し上にあります。そして三角形の底辺は（喉の）甲状腺の上を通っています。ですから大きな金色の三角形が肩の少し上にあり、私たちの頭はこの大きな金色の三角形のなかにあります。

さて、この底辺の両側の２つの角の点、それらは肩の少し上に相当し、肩のすぐ上ではありません。さて今の三角形の底辺の次のステートですが、もし２つの肺を一緒にするとすると、このステートができます。二つの肺です。あなた方が試してみるとわかりますが、それは左右均等ではありませんが、心配する必要はありません。このフォームはそのようになっています。ですから肩の少し上に２つのポイントがあり、二つの肺が次のステートを形成しますが、それはいかなる生の現れでも到達することの不可能なステートです。そして２つの肺から下に下がると、右に肝臓、左に脾臓があります。ですから創造界を示す次のステートが形成されました。その中心には心臓があります。

ですから肝臓と脾臓から下に下がると、この頂点は生殖器、あるいはいわゆるクンダリーニと呼ばれている部分です。それは決して触れてはならないところです。

ですから、このセルは今や肉体を形成しており、聖霊がこの完全な肉体を築きました。しかし残念なことに、この完全な肉体が現在のパーソナリティーに提供されると、現在のパーソナリティーはこの肉体に大きなダメージを与えます。

しかし、両腕、両足はどうなるのでしょう？「生」は本当に両腕、両足が必要なのでしょうか？「生」が完全に表現される時、両腕、両足は全く必要ないのです。しかし、肉体にとってはどうでしょうか？肉体は移動する必要があり、そのためには腕と足が必要です。実際それらは人間が現れの手段として五感を使う時にのみ与えられます。もし人間が必ずしも同調でなくても、超感覚を使用するなら腕や足は必要ないのです。ですから、今私たちは最大のなか、および最小のなかにあるこの「創造のセル」を見てきました。物質の１つの原子でさえ、存在するためにはこのフォームが必要なのです。

現在のパーソナリティーについてはどうでしょうか？このフォームの同一体として築かれた現在のパーソナリティーはなぜ真の本質、特質を現さないのでしょうか？多くのレッスンで述べたように肉体は現在のパーソナリティーではありません。肉体は「聖霊」によって築かれ、現在のパーソナリティーに提供されたものです。ノエティカル体とサイキカル体のみが現在のパーソナリティーであり、それら２つの体は無定形であり、きちんとした形を成していません。なぜ、そしていかにしてそれらは無定形なのでしょうか？なぜかと言えば、その結果現在のパーソナリティーがもはや「生」の特質を表現できなくなるためであり、そのような状態を体験していくことによって、現在のパーソナリティーは個別性を現すことを求めるようになるからです。（＊個別性を表現することによって）自己実現という聖なる仕事が達成されるのです。

それでは、いかにしてそうなったのでしょうか？次のように考えてみてください；ここに卵があり、それはこの惑星を意味します。そして精子があり、それは頭と背骨を意味し、それは実際ロゴス的です。制限ある現れのなかで「生」の表現を与えるのは。このロゴス的部分です。現在のパーソナリティーによって使用される諸体は最初は球体のようになっています。

それゆえ、過去のレッスンで私たちは最初は現在のパーソナリティーの全ての体は球形であり、ハートのセンターに根付いている、と述べたのです。

卵を提供する女性的パート、その卵は聖霊の掌中にあります。そうです、聖霊がそれを使いますが、それはただ肉体を築くためです。しかし現在のパーソナリティーの諸体は聖霊的なものではありません。前にも述べたように、女性が出産するとき、実際にはそれは「最も広大なヘブン」(Widest of Heavens)が現れとしての生を出産しているのです；それでは現れとしての「生」とは何でしょうか？それは現在のパーソナリティーです。

肉体が築かれ、女性を通じてこのバイブレーションの世界に来ます。しかし、本当の出産、それは「最も広大なヘブン」からなのです。なぜなら、「生」が現れるためには常に彼女（最も広大なヘブン）を通じて行われるからです。たとえその「生」が「絶対存在の汎宇宙的キリストロゴス」としての絶対存在であろうとも、常にそうなのです。

それでは「最も広大なヘブン」とは何でしょうか？それは「生」の主な特質の一つであり、「絶対存在」の主な特質の一つであり、それはこの「絶対存在」のなかの一つの質なのです。

ですから、たとえ「汎宇宙的キリストロゴス」として、あるいは「イエスキリスト・ロゴス」としてであれ、「生」が表現されるためには彼女、つまり「最も広大なヘブン」を通じてそれが表現されます。そして現在のパーソナリティーとして表現されるときも同じなのです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

**SPA No.72　エクササイズ１**

静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白に包まれている自分をイメージし…自分の形、境界を感じます…それでは肩より少し上に金色に輝いている大きな三角形を形成し、頭もその三角形のなかにあります…それではこの三角形の底辺から下に一つの長方形を形作ります。その長方形の横の２辺は同じ長さ、縦の２辺も同じ長さです。

そしてその中に無数の色がスパークのように輝いているのを見ます。あまりにも速いスピードでスパークが輝いているので、それらの色を把握するのは不可能です…ただ全ての色が非常に明るく輝いていてこの世のものとは見えません…この長方形の上の辺は前に述べたように上の大きな三角形の底辺で、そこには二つの肺があります…その肺から下方にもう一つの長方形があり、そこには肝臓と脾臓があります…この２番目の長方形の上の辺は最初の長方形の底辺です…そして同じように２つの横の線が等しく、２つの縦の線もそれぞれ等しくなっています…この長方形のなかに非常にクリヤーで明るく輝くホワイトピンクの光があります…次に肝臓および脾臓から下にいくと、肩の少し上にある大きな三角形と同一の三角形があり、その下向きの頂点は生殖器、またはいわゆるクンダリーニに触れています。この三角形のなかには非常にクリヤーで明るい水色の輝きがあります…

ですから、肝臓と脾臓から下に水色の三角形があり、その頂点はクンダリーニに触れています…この三角形の底辺の上に、とてもクリヤーに明るく輝くホワイトピンクの長方形があり…この長方形の上に同じ形のもう一つの長方形があり、その中には言葉に現しがたいような色が見えます…そしてその上には肩の少し上に大きな三角形があり、それはとても明るいクリヤーな金色に輝いています…

そして、これら全ては純白の五芒星のなかで守られています。あなたの肉体だけでなく、「創造のセル」を示すこのステートを形成した後も、それは純白の五芒星のなかで守られています。それでは現在のパーソナリティー全体が良い健康であることを願います。

アガピと最愛のお方の祝福があなたと共にあり、あなたの愛する人々、家庭、そして世界と共にありますように。

私たちは常に主、絶対、主の聖性と共にあります。

それでは質問を受けます。

Ｑ：天上人の三角形は現在のパーソナリティーを意味する三角形と同一形なのでしょうか？

Ｋ：そうです。それだけでなく、天上人は自己実現に向かって上昇していくサイコノエティカルな進化・成長のステートをも活性化します。

さて、現在のパーソナリティーの成長の梯子、段階において、このポジションは何を意味しているでしょうか？前に述べたように、このポジションは人間が真の５つの感覚（五感ではありません。五感は真の感覚の影にすぎません）を使ってセルフを現し始める時を示しています。それらはいわゆる超感覚であり、それは「生」から与えられたものであり、イエスキリスト・ロゴスによって与えられたものです。それは実際何でしょうか？何が与えられ、主が提供し、行う大きなミステリー（神秘）とは何でしょうか？それは火の洗礼のミステリーです。それゆえにこの三角形は現在のパーソナリティーの三角形と同一形となっているのです。なぜなら、下降しそれを与えるのは主だからです。それがその理由ですが、しかしそれだけではありません。主がこのプロセスをスタートさせましたが、現在のパーソナリティーは主によって提供されたものを続けていく必要があります。それを利用すべきなのです。そして素質的可能性の４番目のサイクルにいる現在のパーソナリティーがいて、エゴの様々な側面を殺すことのできるセルフを現しています。そして４番目のサイクルが完了すると、自動的に５番目のサイクルが加えられ、そこにはどんな努力も必要ありまません。なぜなら、パーソナリティーが火の洗礼を終わると、現在のパーソナリティーは５つの超感覚を完全に使うようになり、その時同調と私たちが呼ぶ「生」の能力が加えられるからです。そして今や自己実現している現在のパーソナリティーがいます。

Page5

火の洗礼が始まると（終わりではなく始まりです）、現在のパーソナリティーが上へ上昇し始めると何が起きるのでしょうか？現在のパーソナリティーは上へと上昇することによってこの小さな三角形をマスターしました。それゆえに現在のパーソナリティーが最初の磔に到達すると、キリスト意識と呼ばれるのです。何故でしょうか？なぜなら、もし現在のパーソナリティーがこの三角形をマスターすると、自動的にこの三角形は上昇し、その頂点はこの四角形、このステートの真ん中の点に来るからです。ステートと言う時、それは大宇宙的および小宇宙的に述べています。学ぶ目的で肉体について述べる時には、シンボル、四角形等を使います。実際、中宇宙的に、そして大宇宙的にもこのセル、それぞれのシンボルは一つのステートを示しています。

それゆえに、これら２つの三角形は同一の形になっているのです。しかしこの現在のパーソナリティーが「生の世界」に入ることができるステートに到達すると、そこには入らないでしょう。そうです、この三角形は前と同じ状態に留まる、つまり下向きの位置に留まるでしょう。なぜなら自己実現した現在のパーソナリティーは中宇宙的に実存の諸世界に留まるからです。助けるという唯一の理由によって。なぜなら自己実現した現在のパーソナリティーは個人として、モナドセルフとしてこの境界線を越えないからです。実存の諸世界と「存在の諸世界」の間の境界線です。しかし、これらの境界線は惑星として、惑星上の人類として越えられることになります。

そうです、惑星上の自己実現した全ての現在のパーソナリティーは人類が一人残らず到達するまでは待ち、それから境界線を越えて進むかもしれません。あなた方はどう思いますか？ここでもまた境界線を越えることはしません。何故でしょうか？なぜなら、自己実現した惑星として（それはその惑星上の全人類が自己実現したことを意味しますが）やるべきもう一つの仕事があるからです。神の慈悲、神の絶対愛の仕事を行い、他の銀河系における他の太陽系、他の惑星の人間に奉仕するのです。勿論それがどれほど遠い所にあっても問題ではありません。もはや時間も意味も存在しないからです。それは、つまりどれほど長く続くかは神の黙想の結果です。惑星がその目的に奉仕したかどうかを「決める」のは主であり、その時初めて１つの惑星として、あるいは太陽系として、あるいは銀河系として非物質化することでしょう。そうです、非物質化しますが、現在のパーソナリティーは何であれそれが現すものを「魂」に提供することでしょう。

人間は今や「自己実現した魂」として「存在の諸世界」のなかで引き続き存在していくことでしょう。そこで実際に何が起きるかはわかりません。それら存在の諸世界における自己実現した魂の目的はわかりません。ですから今そのステートの現れにおける「魂」があり、その後に２番目の磔があります。つまり「魂」が呼ばれますが、そこで何が起きるのかはわかりません。そして到達不可能なステートを通っていくのです。そして、そのステートを通過した後に、３番目の磔を経てテオーシス（神との再合一）に入ります。神のもとに帰還し、神とのワンネスへと入ります。しかし「自己実現した魂」としていまやその自己実現を「スピリットセルフ・モナド」に与えます。そして勿論「自己実現したスピリットであるモナド・セルフ」となってからは、神の黙想のなかで異なった活動をします。異なった活動と言う時、それはモナド・セルフを現しながら「ドミニオン」その他として他の異なったイデアがありますが、私たちはそれには触れません。あるいは「惑星ロゴス」、「太陽系ロゴス」、「銀河系ロゴス」、さらには「超銀河系ロゴス」等があります。これら全てのロゴス的存在は「自己実現したモナドセルフ」ですが、それに関してはあまりわかっていません。

Ｑ：クロシング（＊crossing 十字路、踏切、横断などの意味がありますが、ここでの意味は不明）と洗礼の違いをどのように理解したら良いでしょうか？クロシングがあり、磔があるポイントがありますが、クロシングと磔の違いをどのように理解したらよいでしょうか？

Page6

Ｋ：現在のパーソナリティーが大きな四面ピラミッドのなかで３番目の素質的可能性のサイクルを完了させる時、火の洗礼がスタートし、現在のパーソナリティーが四面ピラミッドを完全にマスターする時に火の洗礼が完了します。さて、それで火の洗礼は完了しますが、しかしその洗礼は現在のパーソナリティーのためのものです。次の洗礼は「主」によって「人間のイデア」を通じた現れ（それは現在のパーソナリティーではなく「魂のセルフ・エピグノシス」です）に対して再び行われます。自己実現した「魂のセルフ・エピグノシス」は２番目の磔でスタートし、３番目の磔で終わります。「スピリットにおける洗礼」の完了に向かって進む経過については、何もわかりません。たとえあなたが「自己実現した魂のセルフ・エピグノシス」にそこで何が生じているか尋ねたとしても、彼らもわかりません。なぜなら「スピリット・セルフ」からの微細なスパークは神の黙想によってコントロールされているアウタルキーのステートの中にあるのではなく、彼らはその「活動」（その活動の原因となるスパークではない）に参加しているからです。

Ｑ：それではクロシングを通過しないのですか？

Ｋ：その他全てはクロシングです。クロシングは何を提供するのでしょうか？バランスです。私たちはいまバランスの上にいます。私がバランスのステートをマスターすると…それは調和の世界(the Worlds of Harmony)に入れることを意味しますが、バランスの世界に私を留めるものは何もありません（私の真の本質を現していないとき、結果としてバランスの世界にいます）。私の真の本質を現し始めるということは、無知のステートで現すべきものを全てマスターしたことを意味します。それは現在のパーソナリティーを分ける２つのステートのバランスを意味し、実際それは現在のパーソナリティーに二元性を与えます。確かにイデアとして、「生それ自体の世界」における能力として二元性はありますが、しかしそこでは「生」は二元性を必要としません。しかし、ここでは（＊この次元の世界）二元性が必要であり、ですからクロシングがあります。なぜならこの世界にはバランスがあるからです；ロゴス的な側と聖霊的な側です；自己実現の意識に与えられている能力を伴った意識。なぜなら人間は最初はアークエンジェルであり、同じフォームだからです。全てのアークエンジェルはアークエンジェルのオーダーを通じて全く同じフォームを有しています。唯一違う点は、人間のイデアには自己実現という能力が与えられています。それではその能力とはなんでしょうか？それはセルフ・エピグノシスという質です。「聖霊的イデア」による「生」はプログラムされたセルフ・エピグノシスを有し、各オーダーはそれぞれの目的に奉仕するだけです。

さて、そこでは何のバランスを取るのでしょうか？そこではバランスはありません、それは「調和」のステートです。そこで何が生じているか、それは何もわかりません。なぜなら、これとこれは今や一つ、ワンネスになっているからです；２番目の磔、あるいは３番目の磔で何が生じるのかわかりません。総体としての知識があるだけで、詳しいことは何もわかりません。ですから、現在のパーソナリティー、大きな四面ピラミッドにいる現在のパーソナリティーでさえ、小さな四面ピラミッド、小さな三面ピラミッド、小さな五面ピラミッドを使用している間でさえ、ワークし、エクササイズするためにこのシンボルを使用するのです。これらのエクササイズがどれだけ続くか、それは時だけが示してくれるでしょう。私たちは忍耐を持つべきです；私たちは自分自身に、そして他人に誠実であるべきです。非忍耐は良い友達ではありません、私たちは真摯な探究者であるべきです。そうです、忍耐とワーク、たくさんのワークが必要です。

Ｑ：あなたがこのセンターの下において精子と卵子について説明しましたが、それは単なるシンボルなのですか？リンゴと惑星のように。

Ｋ：そうです。今のところ私の答え方は、卵はイブがアダムに与えたリンゴに相当します。なぜなら、肉体が形成されるために、アダムはリンゴを食べる必要があったのです。しかし、２番目のイニシエーションの後、および３番目のイニシエーション等の後における肉体の形成に関しては、その形成の仕方（その外観、形の詳細、その他について）には原因があります。それら全ては経験の結果です。現在私たちは全員が細かな点まで同じに見えるわけではありません。

人類が自己実現に到達したら、私たち全員は全く同じように見え、他の全てのアークエンジェルと同一になるでしょう…彼らが放つプログラムされている色の光を除けば。ですから、もし私達がミカエルが行っている仕事を行うとするなら、私たちはミカエルと同じ色の輝きを放つことでしょう。もしガブリエルと共に仕事を行うことになるなら、ガブリエルの色を放つことでしょう。しかし、形は全く同じです。

EREVNA SPAS 72/KE200J6